

五十五万石

近畿税理士会和歌山支部

発行

和歌山市湊通丁北1丁目1-3
TEL.426-3600 FAX.424-1474



『無量光寺の首大仏』

無量光寺は紀州藩10代藩主徳川治宝により建立された浄土宗の寺院。首大仏の高さは約3メートル。「首から上のことなら、何でも御利益がある」と言われ多くの人々が毎日参拝している。特に受験期になると、受験を控えた親子がひっきりなしに訪れる。元は末寺の仏像だったが天保6年（1835）に焼失。溶けた銅で二代目の大仏に着手、まず首を紀の川河岸で鑄造したが、胴を造る資金が続かず、明治も後半になって、首は無量光寺へ運ばれた。

目次

支部長挨拶	2	余暇の楽しみ	6
和歌山税務署長着任のご挨拶	3	支部行事風景	7
年は取り度くないもの	4	新執行部紹介	7
「バカの壁」を読んで	5	新入会員等紹介	8
地球の公転と自転	5		

ごあいさつ

和歌山支部長

西岡 義高



八月も末になれば秋近しという気配を感じる今日この頃、支部会員先生方には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は会務運営につきまして、ご支援ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

5月16日の支部総会において支部長に選任されました。過去、副支部長・幹事を何度か経験してまいりましたが、考えていた以上にその業務が多い事に驚きと戸惑いを感じています。しかし同時に選任されました副支部長さんや幹事の皆さんが業務遂行に経験もあり、行動力ある先生方ばかりで大変心強く、2年間という任期を全うしたいと考えております。

さて、税理士法改正、相続時精算の贈与税の制定、消費税課税事業者の売上1,000万円超への拡大、電子申告の開始等、我々税理士業界にとっても激動の時を迎えています。加えて平成3年より不況下のデフレの進行等により経済環境は厳しさを増すばかりであります。この様な中

にあつて、我々税理士は会計事務所の資質の向上、顧客ニーズへの対応、より充実したサービスの提供により他産業からの業界進出の排除や、新たな需要の創出等を通じて地域経済社会に貢献していけば、税理士業界の前途は明るく開けてくるものと考えています。これらの面で私ども役員は少しでも会員先生方の業務に資する様頑張っていきたいと思っております。

まだまだ力不足の点多々ありますが皆様方のご協力、ご指導を今後とも宜しくお願い致します。



着任のご挨拶

和歌山税務署長

田 中 祥 介



残暑の候、近畿税理士会和歌山支部の諸先生方におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

近畿税理士会和歌山支部並びに会員の皆様方には、平素から税務行政につきまして、深いご理解と格別のご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

私は、この度の人事異動により、和歌山税務署長を拝命し過日着任しました。

和歌山税務署は、過去に一度、個人課税第一部門の総括官として勤務した経験がございまして、大変懐かしい思い出一杯の地であります。古くは万葉集に歌われた和歌の浦をはじめ、徳川吉宗に代表される伏虎城の異名をもつ和歌山城など豊かな歴史と伝統文化にあふれ、人情味豊かな御当地に、また縁あって勤務できることを大変光栄に思っております。

ところで、税務行政を取り巻く環境は、情報化・国際化の進展など、経済・社会の構造変化により、大きく変わっております。

また、あるべき税制の構築に向けた本格的な議論がなされており、国民の皆様の税に対する関心の高まる中、税務行政に対する透明性・効率性の確保や納税者の利便を一層図ることが求められております。

税務の執行に携わる私どもといたしまし

ては、このような現状と責任の重さを十分認識し、我が国の税制の大きな柱である申告納税制度が円滑に機能するよう環境の変化に的確に対応し、適正・公平な課税を実現して国民の皆様の理解と信頼を得るため最善を尽くす所存であります。

しかしながら、この目的を達成するには、税の専門家として豊かな経験と高い見識をお持ちの税理士先生方のご理解、ご協力なくしては成し得るものではありません。

近畿税理士和歌山支部におかれましては、常々税務行政に深いご理解をもたれ、税知識の普及と納税道義の高揚等に積極的に取り組んでいただいていることは、誠に心強く、そのご努力に対し深く敬意を表する次第であります。

今後とも、貴支部との連携を密にし、諸先生方のご意見を十分に受け賜りながら、税務行政の円滑な運営と執行に努めて参りたいと思っておりますので、なお一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、近畿税理士会和歌山支部の益々のご発展と会員の先生方のご事業のご繁栄、並びにご健勝を心から祈念いたしまして、着任のごあいさつとさせていただきます。

年は取り度くないもの

福井 眞八

業務に打ち込んで熱中している姿こそ、その人には一番輝いて見えるものと言はれる。永年の研修とその経験を發揮して仕事に従事出来るのは僥倖であると思う。久しい不況続きでその量も質も軽減されて頭を酷使することも少なくなった。

それに老化と、持病も増えて悩みは加重するのは致し方がない。残り人生も僅かになったと思うと、有意義に過ぎねばと考える。体調を気にして感傷にかられては何も生じない。

いつも病院で待ち合いの老人が多い中で自分はまだ現役で若い人のお荷物にはならないと思っている。今迄、疾病やら大手術での入院生活は再三長期に亘って繰返して来たが、幸いにして、致命的失患でなかったから、その遺伝体質を有難く思っている。

柳に雪折れなし、のように外見上はひどい痩せかたで、胸は洗濯板のようで肋骨は全部浮出て骸骨に皮を着せたようである。

それでも人並みの仕事出来るのだから、自分ながら不思議である。今年の確定申告期には事務員より私の作成した分の方が多かった。平均寿命を超過した年になると、今年の申告が最後かも知れない。一期一会の気持になると、仕事で書いたり計算することが無性に懐しく楽しいものである。

所得税確定申告書を書き始めたのが昭和二十六年からであるから五〇年以上になる。形式は色々と変更したが、私の書いたものは夥しい枚数になるだろう。初めの頃は書式は簡単だったが、申告指導の上、納税者と所得額を妥決するのが問題で税務交渉で無意識の内に喫う煙草が灰皿に山盛りになるのが日課であった。

それを思うと現在は大部分青色申告の決算書に基いて、算出した所得額を事務的に計算すれば、よいのだから気苦労は少く進歩したものだと思うこともある。だが往年は問答の末、三百枚も書き上げて別

段疲労を感じなかったが、昨年は張り切りその結果、微熱が出て肺炎と診断一ヶ月近く入院したのだから、年寄りの冷や水、年には勝てないと感じた次第です。

こんな内情でも外見上は元気で達者だと云って呉れる。然し、この状況を維持するため注射、点滴で両腕の血管は潰れてしまって注射針を入れて洩れずに出来る個所が無く、いつも看護師に洩らされ、何度も打ち直して「済みません」と謝られるが、洩れた痛みは格別で数日茶色に変色して痛さを憶えるのは毎度のことである。

それでも自分を活気付けるのは気持を若く保持する事が最も大切だと思っている。それは結果を考えず、物事に取組むことである。

それは自然の景観を眺め美しき懐しきを感じると、自分の気持も浄化されて浮き浮きした気持が湧いて来るものである。

最近郷土の様相も変わってしまった。過疎の休閑地ばかり多く青空駐車場、高層ビルと洋館ばかり、街に自動車が氾濫して喧騒の街と化して、往年の賑った郷愁の存在する処は無くなってしまった。京都の景勝地は若い頃訪れた時と殆んど変化していない。京都市内は近代化しているが、名所旧蹟は昔の儘の姿を留めている事が何より有難く感ずる。幾度訪れても同じ状況、地形、社寺の姿庭園、造作すべて昔の儘である。

この中を訪れると、自分の気持も昔に戻ってしまう。若い頃の姿を取戻したような錯覚が若返りの妙楽だと、いつも信ずる。

この前来た自分と大差のないことを確認すると同時に来年も相変わらず同じ状態で訪れ度いと祈願することになっている。

石川啄木の歌に「チャルメラの響きを聞けば憂なし、幼きころ翻るが如し」とあるが最近夜屋台の車を曳いてチャルメラを吹き鳴らして行商する「中華そば」も見かけなくなった。

変動する世の中に老いた者は追従するのに抵抗を感ずるもので矢張り私も年だなあと感ずる。それに昔の事に郷愁を覚えるのは致し方のないものと思っている。

「バカの壁」を読んで 山本一博

先日、今ベストセラーのトップになっている「バカの壁」を読んだ。

題名がたいへん面白い。東京大学名誉教授の養老孟司さんの本、難解な医学の本かと思ったが、非常にわかりやすく書かれ、何か気が楽くなるような読後感でした。

「出産のビデオ」を学生に見せて、女子学生はほとんどは勉強になったといい、男子学生は、こんなことは既に保健の授業で、知っていることばかりだという答え、なぜ、この違いが生じるのか、自分が知りたくないことには情報を遮断してしまっている。

女の子たちは、いずれ自分たちが出産することがあると思っているから、真剣に細部までビデオを見る。このように女子学生と、男子学生の間には、壁があり、この例に限らず、言葉で説明したらわかるということばかりではないということがわからない。

モンテーニュは「こっちの世界では当たり前のことでも、向こうの世界ではそうでないことがある」と既に16世紀に話している。

$y=ax$ という方程式で、 x が入力、 y が出力とすると情報を遮断していることは $a=0$ （ゼロ）の状態、例えば、父親の説教を、全然聞かない子供、部屋を片付けなさい、宿題をちゃんとやりなさい、とさんざん言うと、その時だけは相槌をうっているけれど、実際、全然聞いていない。だから、次の日同じように悪いことをしている。

$a=0$ の逆ということは、 $a=$ 無限大になる。

このケースでの代表例が原理主義、この場合にはある情報、信条は、その信者にとって、絶対のものになる。だから信者の行動を絶対的に支配することになる。

例えば、アメリカは民主主義が一番良い政治形態であると考えている。よってイラクにもこの形態が一番良いと思うから、民主主義をもちこもうとしている。

イラクは、イスラム教という宗教があり、その宗教にそった政治形態がある。日本でうまくいったから、イラクでもうまくいくとアメリカは思っている。

日本は、民主主義という政治形態が、大正デモクラシーとして既に成立している、これは、王権制、貴族制、武士制、封建制、民主制としたいに人民の自由が次第に広がっていったという歴史的推移があるが、イラクではいまだ独裁制であり、民主主義にいたる経験がない。ロシアもそういった経験がないため今苦しんでいる。

先日、12才の少年がビルの屋上から、4才の少年をつき落して殺すという、痛ましい事件があった。

神戸の少年事件から、このような事件がたえ間なく続いている。

12才の少年と4才の少年との間にバカの壁があり、12才の少年と我々大人との間に壁がある、我々は一部の出来事だと思っているようだが、少しずつ子供たちの中に広がっているような気がする。

最近の泥棒、万引等の多さにビックリしている。

皆様の身近にもよく聞かれることが多いのではなからうか。「バカの壁」は誰にでもあるものだと思えば気が楽になるが、この少年のような事件の壁は、気が重い。

地球の公転と自転

岡本繁男

光陰は矢の如しと諺があるが、月日の経つのは早いもので、今年もはや半ばを過ぎた。月日は地球の公転と自転によって決まっていることは言うまでも無いが、具体的にどんな力が働いて公転は365日自転は1日になっているか考えて見た。

地球の公転は太陽の回転運動（円運動）によって起きている。地球から見た太陽の自転周期は27.3日で、地球の公転周期は365日である。 $27.3 \times 365 = 10,000$

$1 \div 27.3 \times 10,000 = 366 \approx 365$ 日地球の公転周期は太陽の自転周期の逆運動である。

地球の自転は太陽半径の引力により起きている。太陽の皮相半径696,000km,太陽の実効半径464,000km※,地球磁気の逆転1,000,000年,

$$464,000 \div 1,000,000 = 0.464 \approx 0.463 \text{ km}$$

$$\text{地球の円周} 40,000 \text{ km}, \text{地球の1日} = 86,400 \text{ 秒}$$

$$40,000 \div 86,400 = 0.463 \text{ km}$$

地球の自転は太陽の半径の働きによる。

$$\text{※ } 696,000 \times 2 (\text{直径}) \div 3 (\pi)$$

余暇の楽しみ

古田 倫子

私の趣味は、ロングボードである。ロングボードというのは、9フィート（約275cm）以上のサイズのサーフボードを使って波に乗るスポーツである。

ロングボードを始めて、かれこれ10年ぐらい経つだろうか。10年といっても、1年中やっているわけではないのでたいしたことはないが、飽きずに（懲りずに）続けている。

ここで、ロングボード（波乗り）の魅力についてあらためて考えてみた。波乗りに限らないこともあると思いますが、そこはひとつお許し下さい。

① 海に行く前から楽しい

海に行く前日は、まるで遠足の前の小学生である。明日の天気を見てから、波情報を何回もチェックして準備をする。寝起きは決してよくはない方の私が、目覚まし時計が鳴るまえにスクッと起きてしまう。まるで子供である。

② 波の上に立つと気持ちいい

波を自分の眼下におくのは爽快そのもので、そんな経験はなかなかできない、と思う。大きな波に巻かれて怖い目にあった（ボードのフィンが額に刺さった・・・）こともある。しかし、アウト（沖）の方から波打ち際まで長くライディングできたときは、うれしさと達成感で完全に顔がニヤけている。

波は、私の師匠の言葉を借りると、「同じ波は二度と来ない」のである。はるか彼方の外洋から長い旅を経てたどり着いた波に自分が乗せてもらっていると思うと、自然の偉大さを実感できる。

③ 波がなくても気持ちいい

四六時中波があるわけではないので、波待ちをしているとき、波の音を聞きながらゆらゆら

と波間に揺られていると、ゆりかごの中に居るようで気持ちが落ち着く。

何年か前に、「1/fゆらぎ」というキャッチコピーの家電製品が流行ったのがあるが、人の心拍数などと同じリズムが波の音にはあるそうである。「ゆらぎ」には、ヒトを快適にさせる効果があるのだ。

④ どんな人でも楽しめる

小学生ぐらいの子供から60歳近い人まで、波乗りを楽しんでいる。板の上に立つのも精一杯という人もいれば、プロ並みの人もいる。いろんな人がいるのを見ているだけでもおもしろい。下手だからといって周囲にバカにされるようなこともなく、あらゆる人を受け入れてくれる雰囲気がある。（マナー違反者には制裁が下されるが・・・）

また、大会などに出れば話は別だが、ほかの誰かに「今のは〇〇点。」と評されることがない。自分自身が気持ちいいと思う乗り方をすればいいのである。そんな気楽で、自由なところが私の性に合っているのだと思う。

以上、波乗りの魅力について書いてみたが、もちろんいいことばかりではない。板は大きく持ち運びは面倒で重いし、家に置いているときも非常に邪魔である。日焼け止めをマメに塗れないので、シミかホクロか分からない斑点が体じゅうにあり、髪の毛もバサバサになる。

しかし、海での光景を浮かべながらこの文章を書いていると、ムズムズして海へ行きたくなくなってしまふ。まるでビョーキである。



新入会員等紹介 (敬称略)

入 会



サイトウ ツネアキ
齊藤 恒明 (転入)
平成15年1月8日
和歌山市上野町1-1 浅見ビル2F



ツジモト マサト
辻本 正人 (転入)
平成15年4月23日
和歌山市杉の馬場1-15 中井産業ビル1F 中井秀行事務所内



アオキ シュンスケ
青木 俊典 (入会)
平成15年1月23日
和歌山市西旅籠町4
第2垂井ビル 青木典敏事務所



カジモト ユキヒロ
梶本 幸弘 (入会)
平成15年8月27日
和歌山市駕町23
梶本賢一事務所内



コノシタ ショウゾウ
神下 庄三 (転入)
平成15年4月8日
和歌山市東高松2-3-4

税理士法人 ゆびすい 和歌山支店 (入会)
平成15年1月24日
和歌山市雑賀屋町19 和歌山県薬剤師会館

転 出

奥野 浩一 (奈良支部) 平成15年7月14日

退 会

木下 榮繁 (死亡) 平成15年2月24日
塩路 孝雄 (死亡) 平成15年4月18日
辻 四郎 (死亡) 平成15年7月24日

会員数 (平成15年8月28日現在) 240名(社)

◆◆◆◆◆ 編 集 後 記 ◆◆◆◆◆

長かった梅雨が明け、猛暑に熱帯夜ときて暦の上の立秋に台風襲来。

冷害を心配しつつもお盆休み明けには、きびしい猛暑と気ぜわしい夏も過ぎ朝夕の風は少しずつ秋を感じさせてくれる頃になりました。

「秋風の寒く吹くなへ我がやどの
浅茅が本にこほろぎ鳴くも」
(よみ人しらず)『万葉集』卷十

秋風が涼しく吹くなら気持ちがいよいよ寒く吹くのは困る。経済や景気もそう。風とおしのよ

い方がいいが冷えきってしまうのはよくない。

「和歌山が一番、和歌山から世界へ情報を発信しよう、和歌山の素晴らしさを世界に知ってもらおう」

このくらいの意気込みは持っていたい。

さて「五十五万石」第16号を発刊するに当たって多くの方々からご投稿いただきありがとうございます。

時節の変わり目どうかお身体には充分ご留意されますことをお祈りし、編集後記と致します。

広報委員 北 岡野 小西